

ミニ・ディスクロージャー誌
平成28年3月期 営業のご報告

2016



Contents

- | | | | |
|---|------------------------------------|----|-----------------|
| 1 | 千葉銀行のプロフィール | 11 | 地方創生に向けた取組み |
| 2 | ちばぎんグループのご紹介 | 13 | ちばぎんグループのCSR |
| 3 | 頭取インタビュー | 15 | 平成28年3月期 業績のご報告 |
| 6 | 第12次中期経営計画「ベストバンク
2020～価値創造の3年」 | 17 | 金融円滑化に向けた取組み |
| 7 | トピックス 武蔵野銀行と包括提携 | 18 | 株式の状況 |
| 8 | トピックス ダイバーシティの推進 | 19 | 連結財務諸表(要約版) |
| 9 | 特集 フィンテック | 21 | 単体財務諸表(要約版) |
- 裏表紙** ちばぎんネットワーク

千葉銀行のプロフィール(平成28年3月31日現在)

設 立	昭和18年3月
拠 点	国内 180店舗(本支店157、特別出張所5、出張所15、仮想店舗3) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 45,602か所 (うちコンビニATM[E-net]13,436か所、セブン銀行との提携による 共同ATM 20,728か所、ローソンとの提携によるATM 11,164か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 3駐在員事務所(上海、シンガポール、バンコク)

従 業 員 数	4,280人
総 資 産	13兆2,658億円
預 金	11兆1,402億円
貸 出 金	8兆7,974億円
資 本 金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結13.79% 単体13.26%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

新キャラクター「ひまりん」デビュー☆

「ひまりん」は、当行の職員から広くデザイン・名称を募集し、誕生したオリジナルのキャラクターです。デザインは、当行のバンクフラワーである「ひまわり」をモチーフにしています。

【プロフィール】

ひまわりの妖精、「ひまりん」です。ポジティブで明るく、人の笑顔を見るのが大好きな女の子。誕生日は千葉銀行と同じ、3月31日。趣味はガーデニングとお散歩です。



よろしくね!

ちばぎんグループのご紹介

ちばぎんグループは、当行のほか子会社13社で構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しています。

会社名	主な業務内容
株式会社総武	千葉銀行の店舗・厚生施設の賃貸・保守・管理や、調度品・消耗品等の調達・販売を行っています。
ちばぎんキャリアサービス株式会社	千葉銀行や地元企業等への人材派遣・職業紹介の他、企業の給与・経理業務の事務代行を行っています。
ちば債権回収株式会社	債権の管理・回収業務を行っています。
ちばぎんハートフル株式会社	名刺・ゴム印の作成やダイレクトメール等の封入・発送業務の他、千葉銀行の事務代行業務を行っています。
ちばぎん証券株式会社	株式・債券・投資信託などの金融商品を取り扱う証券業務を行っています。
ちばぎん保証株式会社	住宅ローン・カードローン等の保証業務の他、売上代金・各種料金・会費等を回収する集金代行業務を行っています。
ちばぎんジェシーピーカード株式会社	JCBブランドのカード業務や信用保証業務の他、ギフトカードの販売等を行っています。
ちばぎんディーシーカード株式会社	DCブランドのカード業務や信用保証業務等を行っています。
ちばぎんリース株式会社	OA機器・車両・産業機械・店舗機器・医療機器・リサイクル機器等のリース業務を行っています。
ちばぎんコンピューターサービス株式会社	ソフトウェア開発やコンピュータ機器販売、情報処理・サーバ運用などの業務代行等を行っています。
ちばぎんキャピタル株式会社	投資事業組合（ファンド）の運営・管理業務やM&Aのアドバイザー業務、株式上場を目指す企業の新株引受け等を行っています。
ちばぎんアセットマネジメント株式会社	投資信託の組成・運用や、豊富な経験と専門的知見に基づいた投資助言等を行っています。
株式会社ちばぎん総合研究所	経営コンサルティングや各種調査受託・研究、ビジネスマッチング業務等を行っています。

(平成28年3月31日現在)



相葉 香凛さん(インタビュー)

千葉県出身の若手女優、平成20年デビュー。平成21年「別冊☆ガールズオーデション」準グランプリ受賞。平成22年「青い青い空」で映画初主演。平成26年7月から千葉銀行のイメージキャラクターを務める。



取締役頭取 佐久間 英利

昭和51年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、平成15年6月取締役就任、平成21年3月取締役頭取に就任。

地域とともに、持続的な成長を目指して

グループを挙げて 地域活性化に貢献

相葉:頭取にとって、昨年度はどんな1年間でしたか。

頭取:地元千葉県が活気づく、明るい話題が多かったと思います。例えば、昨年4月の成田空港LCC専用ターミナルの開業は大きな注目を集めました。また、6月の圏央道延伸や、2020年東京オリンピック3競技・パラリンピック4競技の幕張メッセ開催決定などもうれしい出来事でした。

相葉:千葉銀行として、特に注力した活動について教えてください。

頭取:昨年度は、グループを挙げて「地方創生」への取組みに力を入れた一年でした。ちばぎん総合研究所が策定した『千葉県創生』戦略プラン』では、県内各地域の特性を分析して今後の方向性を提言させていただき、政府の「まち・ひと・しごと創生本部」より特徴的な事例として取り上げられました。さらに、創業や新規事業など「地方創生」に寄与するプロジェクトについて資金面からバックアップするため、「広域ちば地域活性化ファンド」や「ちばぎん地方創生融資制度」の取扱いを開始しました。

また、地域の観光振興のため、観光用レンタサイクルを贈呈する活動を

始め、昨年度は南房総地域に65台、今年度も北総地域に76台を寄贈しました。来年度以降も続けていき、5年間で300台を寄贈する予定です。

相葉：3月に発表された武蔵野銀行との包括提携には、どのような意味合いがあるのですか。

頭取：この包括提携は、両行それぞれが地域に根差した独立経営を維持しつつ、ノウハウや事業基盤を相互に活用し、より付加価値の高いサービスを提供していくことを目的としています。両行は、同じ首都圏に基盤を持つ地銀であり、共有する課題が多いうえ、店舗網の重複が少ないことから、本提携は高い効果が期待できます。現在、両行から数多くの連携施策のアイデアが出ており、これらをスピード感をもって実行に移していきます。

順調に推移する 「中期経営計画」

相葉：昨年度は中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」の2期目でしたが、進捗状況はいかがですか。

頭取：主要計数目標については、順調に推移しています。昨年11月には、計画を一部見直し、地方創生やフィンテックといった新たな課題への対応を強化しています。

相葉：平成28年3月期の決算について詳しく教えてください。

頭取：貸出金は、中小企業向け貸出や住宅ローンなどが順調に推移し、前期末比3,362億円増加の8兆7,974億円となりました。また、預金は、個人預金の増加などにより前期末比4,068億円増加し11兆1,402億円となりました。

この結果、連結経常利益は前期比13億円増加の855億円、親会社株主に帰属する当期純利益は554億円となりました。これは、前期に計上した負ののれん発生益等の影響を除くと、7期連続の増益となり、かつ過去最高益となる水準です。さらに、連結総自己資本比率は13.79%と引き続き高い健全性を維持しています。

相葉：中期経営計画では、ダイバーシティ推進の一環として女性が活躍できる場の拡大にも力を入れていると伺っています。私自身も女性として大いに関心があるのですが、どのような取り組みを行っているのですか。

頭取：当行が持続的に成長していくためには、これまでのように男性だけの発想では限界があり、多様な人材が生み出す新たな発想が大切だと考えています。このため、時間外労働の短縮に向けた業務改革や働き方の見直しに取り組んでいるほか、結婚や配偶者の転勤等でやむなく退職する地方銀行の行員に転居先近隣の地方銀行を紹介する「地銀人材バンク」を立ち上げ、行員のキャリア継続を支援する

取組みを進めています。こうした取組みを評価いただき、昨年12月、当行は内閣府「女性が輝く先進企業表彰」において「内閣総理大臣表彰」を受賞することができました。

相葉：それはすばらしいことです。頭取自ら先頭に立っていらっしゃるのです。

頭取：私の妻も長く教師をしていましたので、家事の分担などは当たり前に行っていました。女性が働き続けるためには、男性がもっと家事や育児に参加し、女性の負担を軽減していくことが必要だと思います。

相葉：とても良いお話ですね。ぜひ私もそのような職場で働いてみたいと思います。

フィンテックを活用したサービスを推進

相葉：ところで最近、フィンテックという言葉をよく耳にします。このフィンテックによって銀行のサービスは大きく変わのでしょうか。

頭取：フィンテックはファイナンスとテクノロジーを組み合わせた造語で、ITを活用した革新的な金融サービスを指します。当行では、昨年11月に「フィンテック事業化推進室」を立ち上げ、ビッグデータや人工知能を活用した先進的なサービスの開発に力を注いでいます。

相葉：実際にどのようなことができる

ようになるのですか。

頭取：若い世代にとって、スマートフォンやSNSは最も身近な情報チャネルとなっています。当行でもこうしたチャネルを活用し、3月にLINEアカウントを開設、キャンペーン案内や地域情報などを配信しています。6月からは、キャンペーン情報やお知らせを最適な場所・タイミングでお届けするスマートフォン用「ちばぎんアプリ」の提供を始めました。

お客様の課題解決に向けた提案活動を展開

相葉：千葉銀行は地域の金融機関として、今後どのようなことを進めていくのでしょうか。

頭取：先ほどお話した「地方創生」の取組みに加え、お客様の課題解決に貢献するビジネスモデルをさらに拡大していきたいと考えています。ご預金やご融資だけのお取引に留まらず、お客様の販路拡大や業務効率化、さらに事業承継といった重要な経営課題の解決につながる提案ができる人材の育成や態勢整備をより強化していきたいですね。

相葉：私の故郷である千葉県の発展に、ますます重要な役割を果たしてくださることを期待しています。

頭取：ありがとうございます。これからも地域の皆様のご期待に応えられるよう、全力を尽くしてまいります。

ベストバンク2020

価値創造の3年

2014.4.1～2017.3.31

「お客さま第一主義」により最高の価値を提供するとともに、
攻めの営業を徹底し、「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

2015年度下期より、中期経営計画開始以降の環境変化を踏まえ、
新たに取り組むべき課題を追加しました。

「価値創造の3年」で取り組む課題

新たな 企業価値の創造

- 「地方創生」の実現に向け、お客さまの事業の成長や経営課題の解決をサポートします。
- フィンテックの活用やチャネル・店舗ネットワークの充実により、お客さまの利便性を高めます。

人材育成の 一層の充実

- 高い専門性を持つ人材を育成します。
- 女性の活躍支援など、ダイバーシティを一層推進します。

持続可能な 経営態勢の構築

- 持続的な成長に向け、業務の生産性向上を図ります。
- リスク管理態勢やコンプライアンスを強化します。

「価値創造の3年」で到達すべき目標

親会社株主に帰属する当期純利益
570億円

連結ROE
6%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
9兆円程度

預金残高
11兆円程度

グループ預かり資産残高
2兆4千億円程度

2020年(6年後)に目指す姿

親会社株主に帰属する当期純利益
650億円

連結ROE
7%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
10兆円程度

預金残高
12兆円程度

グループ預かり資産残高
3兆円程度

中期経営計画計数項目の進捗状況

(単位：億円)

目標とする指標	2014/3 【実績】	2015/3 【実績】	2016/3 【実績】	2014/3比		2017/3 【計画】	2020/3 【計画】
				進捗率	進捗率		
親会社株主に帰属する当期純利益	464	570	554	+90	—	570	650
連結ROE	6.27%	7.07%	6.43%	+0.15%	—	6%台	7%台
連結普通株式等Tier1比率	12.85%	13.17%	12.74%	▲0.11%	—	13%台	13%台
貸出金残高	80,830	84,611	87,974	+7,144	77.9%	90,000	100,000
預金残高	101,218	107,333	111,402	+10,183	115.9%	110,000	120,000
グループ預かり資産残高	19,662	20,968	20,130	+468	10.7%	24,000	30,000

武蔵野銀行と包括提携

平成28年3月25日、当行は埼玉県を地盤とする武蔵野銀行と包括提携(千葉・武蔵野アライアンス)契約を結びました。



契約締結式の様子



武蔵野銀行・加藤喜久雄頭取



何のため?

両行が、それぞれの地元で築き上げた営業基盤やブランドを最大限活かしながら、ノウハウを結集して相互に有効に活用することで、更なる地方創生への貢献や、地域経済の発展に寄与してまいります。地域のお客様さまに対しては、今まで以上に利便性の高いサービスを提供するとともに、様々な面でコスト削減を図ってまいります。



何をするの?

当行のグループ会社を活用した資産運用商品の共同販売やフィンテック分野での共同開発などを考えています。また、コスト削減の観点では、両行の本部集中部門やコールセンターなどバックオフィスを共同化することを検討しています。



なぜ武蔵野銀行となの?

当行と武蔵野銀行は、以下の点から、提携することで高い効果が得られ、信頼できるベストパートナーであると考えています。

- ①地域経済・お客さまを第一に考えるという理念が一致。
- ②マーケット環境が近く、首都圏特有の課題を共有。
- ③地理的に近接しているながら、店舗網の重複が少ない。



ダイバーシティの推進

当行は、多様性を認め合い、職員一人ひとりがその能力を最大限発揮できる組織を目指し、ダイバーシティ推進に関する取組みを更に加速させています。



「女性が輝く先進企業表彰」における「内閣総理大臣表彰」

「イクボス企業同盟」に加入！<平成27年9月>

NPO法人ファザーリング・ジャパンが設立した「イクボス企業同盟」は、積極的に自社の管理職の意識改革を行い、新しい時代の理想の上司(イクボス※)を育てていこうとする企業のネットワークです。

※イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことをいいます。



千葉市及び市内企業・団体トップによる「イクボス宣言」に共同署名！<平成27年11月>

千葉市の呼びかけに応じ、組織におけるワーク・ライフ・バランスや多様な人材の活躍を推進するため、NPO法人ファザーリング・ジャパンの「イクボス宣言」に、千葉市、イオン(株)、(株)ウェザーニューズ、JFEスチール(株)東日本製鉄所、国立大学法人千葉大学のトップらとともに署名しました。



女性活躍推進法に基づく行動計画を策定！<平成28年4月>

当行は、女性登用の数値目標達成に向け、女性の職域拡大、キャリア形成支援、働き方改革に取り組んでまいります。

お知らせ

当行はダイバーシティに関して、様々な賞をいただきました。

平成27年12月 内閣府「女性が輝く先進企業表彰」における『内閣総理大臣表彰』

平成28年 3月 NPO法人J-Win「2016 J-Winダイバーシティ・アワード」における『ベーシック アchievement 準大賞』

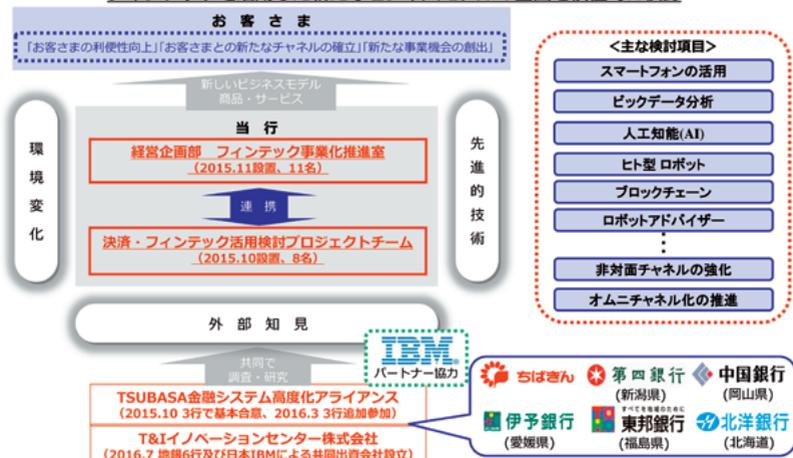
特集 フィンテック

当行は、ITを活用した先進的で利便性の高いサービスの提供に積極的に取り組んでいます。

推進態勢

千葉銀行のフィンテックへの取り組み態勢

フィンテックを活用した新たなビジネスモデルの企画を積極的に検討



「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」の締結<平成27年10月>

当行は第四銀行・中国銀行とともに、日本アイ・ピー・エム(株)の協力を得て、フィンテックとその活用について共同で調査・研究を行う組織を立ち上げました。平成28年3月には伊予銀行・東邦銀行・北洋銀行が加わり、現在6行が加盟しています。

「フィンテック事業化推進室」の設置<平成27年11月>

フィンテックを活用した新たなビジネスモデルの企画や異業種との連携等を積極的に進めていく専担部署として、経営企画部内に設置されました。公募で選ばれたメンバーに、インターネットバンキング、ホームページなどのチャネル担当者を加えた総勢11名が業務にあたっています。

子会社「T&Iイノベーションセンター(株)」の設立<平成28年7月予定>

「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」加盟行と日本アイ・ピー・エム(株)から出資を受け入れ、フィンテックを活用した金融サービスの企画・開発を行う子会社を7月に設立する予定です。

フィンテックとは、金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語で、ITを活用した革新的な金融サービスのことで、近年、急速に普及するスマートフォンやタブレット端末に加え、人工知能やビッグデータ等を金融に取り入れることで、金融サービスに革命をもたらすと期待されている新しい分野です。



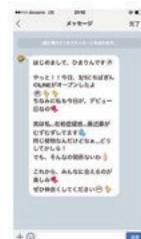
これまでの主な取組み

フィンテックベンチャーとの協業

時期	会社名	協業分野
平成27年12月	ゼネリックソリューション(株)	ビッグデータの分析
平成27年12月	freee(株)	企業の経営情報の与信審査・経営モニタリング等への活用

SNS「LINE」アカウント開設<平成28年3月>

当行とお客さまとを結ぶ新しいチャンネルとして、「LINE」アカウントを開設しました。オリジナルキャラクターの「ひまりん」がおトクなキャンペーンの案内や地域情報などを随時配信しています。



人型ロボット「Pepper導入支援サービス」の紹介開始<平成28年3月>

子会社のちばぎんコンピューターサービス(株)が法人向けに提供するこのサービスは、Pepperの初期セットアップや業務利用向けのアプリケーション開発などを行います。銀行グループが、お取引先のPepper導入を支援する取組みは全国初となります。



スマートフォン向けアプリ「ちばぎんアプリ」の提供開始<平成28年6月>

「ちばぎんアプリ」には、キャンペーン情報やお知らせを最適な場所、最適なタイミングでお届けする位置情報に連動したプッシュ通知や、店舗・ATM・ちばぎんパートナー*の検索、当行のCM動画や地域情報誌「Lounge(ラウンジ)」の閲覧といったアプリならではの様々な機能を搭載しています。

*対象カードの利用者に対し、ポイント優待や割引などの地域優待サービスを提供する提携企業。



地方創生に向けた取り組み

「ちばぎん移住・定住セミナー」の開催<平成28年3月>

セミナー

館山市、いすみ市と協力し、南房総・外房地域の暮らしと仕事に関する講演や南房総地域の企業による会社説明会を行いました。希望者には、移住・定住に向けた個別相談会も実施しました。

この他、産業振興、地域活性化の観点から各種事業者向けのセミナーも随時実施しています。



成田支店内に「成田市情報コーナー」を設置<平成28年4月>

連携

成田市と周辺市町の観光振興を目的として、成田支店のATMコーナーに「成田市情報コーナー」として観光パンフレット専用ラックを置き、成田市とともに観光情報を発信しています。



観光用レンタサイクルの贈呈<平成28年4月>

社会貢献

県内の観光振興を目的に、昨年度より「ちばプロモーション協議会」をつうじて、県内市町村へ観光用レンタサイクルを贈呈しています。今年度分の76台は、北総地域の4市3町で活用されます。



地域経済活性化に関する連携協定の締結

連携

地元自治体や各種機関と地域経済活性化に向けた連携を進めています。

27年11月	匝瑳市、御宿町
27年12月	千葉県商工会議所連合会及び県内21商工会議所
28年 4月	市川市
28年 5月	流山市

※これまでに、14市町、5団体と同様の連携協定を締結しています。



当行は、地域のトップバンクとしてグループを挙げて「地方創生」への取組みに積極的に参画してまいります。

地方創生に関連した投融資の事例をご紹介します!



株式会社R.project (千葉県安房郡鋸南町)

利用されていなかった公共施設をダンス・音楽合宿所や外国人旅行者向けの宿泊施設として活用する同社の事業が、「広域ちば地域活性化ファンド」の第1号投資事業となりました。



東総みどり農産株式会社 (千葉県香取市)

休耕地を含む農地を集約し、大型農機具を使用して生産効率の高い畑作を目指す同社の事業が、「ちばぎん地方創生融資制度」適用第1号となりました。大規模農地での農作業は地元農家の雇用創出にもつながります。

株式会社大將軍 (千葉県千葉市中央区)

焼肉チェーンを展開する同社の事業承継対策及び成長戦略の一環として、ファンドを活用した出資と地域金融機関との協調融資に取り組みました。

株式会社幸和義肢研究所 (茨城県つくば市)

つくば市の「障害福祉計画」に基づき、障がい者の社会進出を支援する同社の新規事業をサポート。「ちばぎん地方創生融資制度」にて、就労支援施設の建築資金融資を取り組みました。

合同会社WOULD(ウッド) (千葉県南房総市)

廃校となった南房総市の小学校を、宿泊施設や地域の交流拠点として再生する同社の新規事業への支援を行いました。旧校舎を改修する資金として「ちばぎん地方創生融資制度」による長期融資を取り組みました。

ちばぎん グループの CSR

第7回エコノミクス甲子園千葉大会の開催

金融経済教育の普及を目的として、千葉興業銀行とともに全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を開催しています。

平成27年12月、千葉県内の12の高校から参加した24チーム48名が、金融経済に関する筆記テストや早押しクイズに挑み、千葉県立柏高等学校の高橋明也さんと植原龍之介さんのペアが見事優勝しました。同ペアは千葉県代表として全国大会にも出場し、健闘しました。



災害用備蓄品を寄贈

千葉県内で「フードバンク事業」を展開するフードバンクちばに、当行が保管する災害用備蓄品(カンパン40箱(960個)、保存水400本(600L))を寄贈しました。

「フードバンク事業」は、品質には問題がないにも関わらず廃棄されてしまう食品を、企業・団体・個人から引き取り、生活困窮者に無償で届ける事業です。県内の生活福祉向上と廃棄食品削減を目指し、これからも寄贈を継続していきます。

第21回ちばぎんカップの開催

平成28年2月にJリーグプレシーズンマッチ「ちばぎんカップ ジェフユナイテッド市原・千葉VS柏レイソル」が2年ぶりに開催されました。当日は、千葉市・市原市をつうじて障がいのある方約300名をご招待し、白熱した試合を観戦していただきました。場外では、千葉県産品を中心とした飲食・物販ブースが並び「ちばぎんカップマルシェ」も開かれました。



ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

第6回ちばぎんひまわり寄席の開催

「笑いで地域を元気に」という思いを込め、県内各地で「ちばぎんひまわり寄席」を開催しています。平成28年3月、東日本大震災被災地の旭市で開催し、抜群の人気と実力を誇る林家たい平師匠が、復興への願いを込めた語りも披露、会場は笑いと涙に包まれました。



入場無料！ おすすめ寄り道スポット

ちばぎんひまわりギャラリー

東京日本橋「コレド室町3」の4Fにある入場無料のアートスペース。当ギャラリーでは、有名作家による企画展や千葉にゆかりのある作家の公募展を開催しています。



金田美津江 展

開廊時間	10時～18時(最終入廊17時30分) ※個展の最終日は16時まで(最終入廊15時30分まで)
休廊日	月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、 年末年始(12/31～1/3)、入替日
入場料・ 使用料	無料
所在地	東京都中央区日本橋室町1-5-5 「コレド室町3」4階
最寄駅	JR総武本線 新日本橋駅(直結) 東京メトロ銀座線 三越前駅(直結)
お問い合わせ先	ちばぎんひまわりギャラリー TEL: 03-3270-8898

● 個展のスケジュール

日程	個展名
6月21日(火)～7月3日(日)	岩田 博 展(油彩画)
7月 5日(火)～7月18日(月・祝)	渡邊 万莉菜 展(ミクストメディア)
7月20日(水)～8月28日(日)	金田 美津江 展(磁器レコード)

ちばぎん金融資料室

創立70周年を記念して開設した、ちばぎんと千葉県の金融の歴史がわかる展示スペース。お金にまつわる豆知識を楽しんで学べる体験型展示やクイズゲームもご用意しています。



オープン時間	10時～17時(最終入室16時30分)
休室日	月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、 年末年始(12/31～1/3)、その他臨時に休室 することがあります。
入場料	無料
所在地	千葉市中央区富士見2-3-1 (塚本大千葉ビル)2F
最寄駅	JR千葉駅・京成千葉駅・ 千葉都市モノレール千葉駅より徒歩3分
お問い合わせ先	公益財団法人 ちばぎんみらい財団 TEL: 043-216-5204 http://www.chibagin-mirai.jp/



平成28年3月期は、連結経常利益が前期比13億円増加の855億円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比15億円減少の554億円となりました。

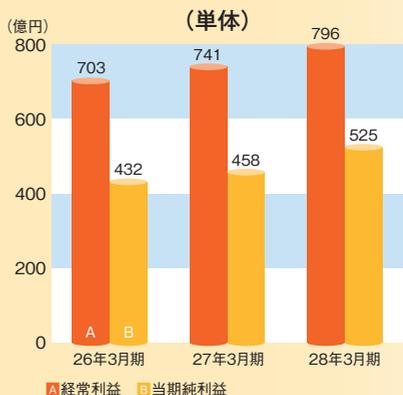
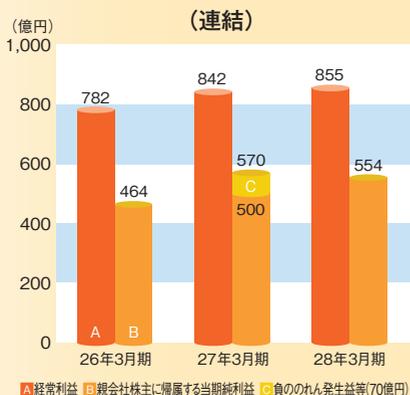
なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上した負ののれん発生益等70億円の影響を除いた場合、前期比54億円の増加、また、通期の業績として過去最高益となります。

総自己資本比率は、連結で13.79%、単体で13.26%となりました。

貸出金は、前期末比3,362億円増加の8兆7,974億円となりました。そのうち、事業者向け貸出が前期末比2,038億円増加、住宅ローンが前期末比1,241億円増加しました。

預金は、個人預金の増加などにより、前期末比4,068億円増加し11兆1,402億円となりました。

損益の状況



自己資本比率(パーゼルⅢ)の状況



バーゼルⅢ

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合以上持つように義務づけています。

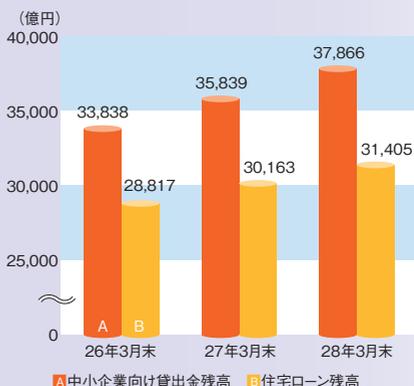
普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルⅢでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められています。

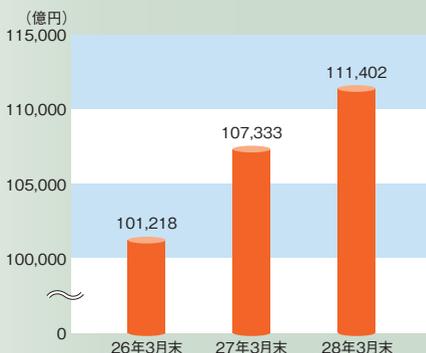
貸出金の状況



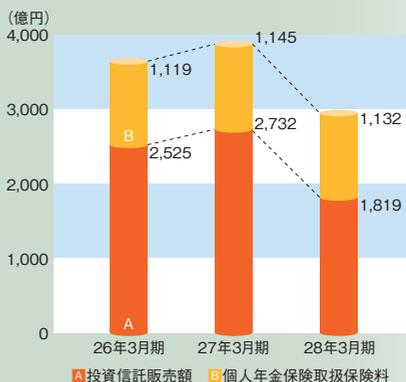
中小企業向け貸出金・住宅ローンの状況



預金の状況



投資型金融商品の状況

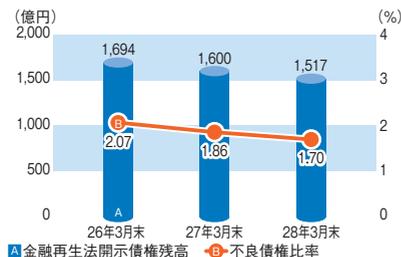


当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、お客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、引き続き「お客さま第一主義」を徹底し、新規のお借入れやお借入れ条件の変更等のご相談に真摯に対応していくとともに、お客さまのニーズに応じた積極的なソリューションの提供により、地域における金融円滑化への取組みを一層強化してまいります。

金融再生法開示債権の状況

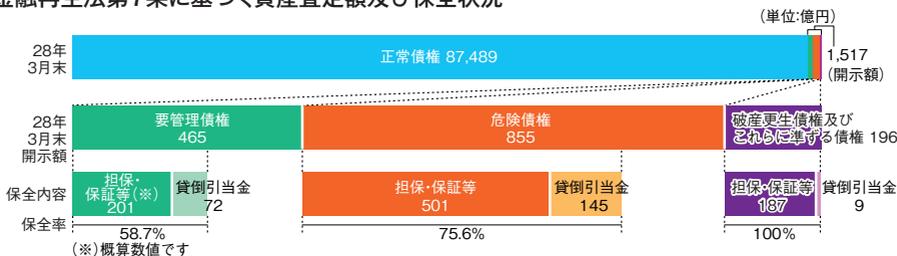
不良債権の推移



平成28年3月末時点の金融再生法開示債権残高は、1,517億円となりました。また、不良債権比率は1.70%となっています。

引続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会などの外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

株式の所有者別状況

平成28年3月31日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)
政府・地方公共団体	2	9	0.00
金融機関	97	347,535	39.88
金融商品取引業者	47	21,553	2.47
その他の法人	1,175	124,541	14.29
外国法人等	498	217,858	25.00
個人その他	23,450	159,912	18.36
計	25,269	871,408	100.00

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は4,113,087株となっております。
 2. 自己株式53,819,360株は「個人その他」に53,819単元、単元未満株式に360株含まれております。なお、自己株式53,819,360株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は53,818,360株です。
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

■事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会

毎年6月

■基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

■公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

平成28年3月31日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	35,957	4.10
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	31,181	3.56
日本生命保険相互会社	26,870	3.06
第一生命保険株式会社	26,230	2.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	25,414	2.90
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	24,537	2.80
明治安田生命保険相互会社	18,291	2.08
住友生命保険相互会社	17,842	2.03
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	16,315	1.86
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	14,060	1.60

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式53,818千株(6.14%)があります(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

■株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株(1単元)
 以上保有の株主

■株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)より、千葉県の特産品等、当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待*が受けられる株主優待クーポン、TSUBASAプロジェクトに参加する地方銀行4行(第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行)の地元特産品等のいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有 株数	1,000株以上10,000株未満	10,000株以上
優待 商品	千葉県の特産品等3,000円相当 または株主優待クーポン1枚 またはTSUBASAプロジェクト 連携企画特産品等3,000円相当	千葉県の特産品等6,000円相当 または株主優待クーポン2枚 またはTSUBASAプロジェクト 連携企画特産品等6,000円相当

- *金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。
 1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
 2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)
 3. 遺言信託引受承諾手数料20%割引
 4. ちばざん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
 5. ちばざん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

■ 連結貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	平成27年3月末	平成28年3月末	科 目	平成27年3月末	平成28年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	1,227,256	1,397,413	預金	10,722,619	11,127,408
コールローン及び買入手形	316,924	198,378	譲渡性預金	495,494	359,022
買現先勘定	14,996	4,999	コールマネー及び売渡手形	39,878	134,500
債券貸借取引支払保証金	2,091	-	債券貸借取引受入担保金	154,368	191,699
買入金銭債権	22,624	22,051	特定取引負債	20,788	22,905
特定取引資産	271,774	182,592	借入金	308,712	268,485
金銭の信託	44,450	36,893	外国為替	767	640
有価証券	2,362,229	2,455,700	社債	76,020	107,545
貸出金	8,438,684	8,769,113	その他負債	143,989	121,252
外国為替	8,080	2,596	退職給付に係る負債	20,091	24,483
その他資産	95,225	109,881	役員退職慰労引当金	185	166
有形固定資産	102,423	101,971	睡眠預金払戻損失引当金	2,093	2,275
無形固定資産	11,091	10,934	ポイント引当金	442	414
退職給付に係る資産	7,569	-	特別法上の引当金	27	27
繰延税金資産	6,082	5,928	繰延税金負債	30,576	19,349
支払承諾見返	82,896	76,214	再評価に係る繰延税金負債	11,742	11,069
貸倒引当金	△ 44,960	△ 40,811	支払承諾	82,896	76,214
			負債の部合計	12,110,695	12,467,459
			(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			利益剰余金	480,803	524,817
			自己株式	△ 27,532	△ 37,480
			株主資本合計	720,474	754,540
			その他有価証券評価差額金	121,264	103,921
			繰延ヘッジ損益	414	231
			土地再評価差額金	10,663	11,050
			退職給付に係る調整累計額	5,484	△ 3,861
			その他の包括利益累計額合計	137,826	111,342
			新株予約権	446	516
			純資産の部合計	858,747	866,398
資産の部合計	12,969,442	13,333,858	負債及び純資産の部合計	12,969,442	13,333,858

■ 連結損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	(平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
	平成27年3月期	平成28年3月期
経常収益	224,266	228,693
資金運用収益	136,601	138,801
(うち貸出金利息)	111,587	108,853
(うち有価証券利息配当金)	22,610	26,278
信託報酬	3	2
役務取引等収益	48,022	48,433
特定取引収益	4,271	4,681
その他業務収益	4,248	4,242
その他経常収益	31,117	32,531
経常費用	140,021	143,136
資金調達費用	11,865	15,417
(うち預金利息)	4,580	5,076
役務取引等費用	16,544	17,503
その他業務費用	424	2,014
営業経費	89,039	87,626
その他経常費用	22,147	20,573
経常利益	84,244	85,556
特別利益	5,128	9
固定資産処分益	1	9
負ののれん発生益	5,127	-
特別損失	1,140	690
固定資産処分損	423	456
減損損失	717	233
税金等調整前当期純利益	88,232	84,875
法人税、住民税及び事業税	26,653	25,037
法人税等調整額	4,545	4,393
法人税等合計	31,199	29,431
当期純利益	57,033	55,444
親会社株主に帰属する当期純利益	57,033	55,444



■ 貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	平成27年3月末	平成28年3月末	科 目	平成27年3月末	平成28年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	1,224,180	1,393,999	預金	10,733,396	11,140,215
コールローン	316,924	198,378	譲渡性預金	534,094	399,022
買現先勘定	14,996	4,999	コールマネー	39,878	134,500
債券貸借取引支払保証金	2,091	-	債券貸借取引受入担保金	154,368	191,699
買入金銭債権	13,130	12,501	特定取引負債	20,788	22,905
特定取引資産	271,195	182,419	借入金	307,655	267,573
金銭の信託	38,450	31,393	外国為替	767	640
有価証券	2,355,778	2,447,857	社債	76,020	107,545
貸出金	8,461,180	8,797,479	その他負債	95,014	73,185
外国為替	8,080	2,596	退職給付引当金	19,991	19,320
その他資産	44,029	54,027	睡眠預金払戻損失引当金	2,093	2,275
有形固定資産	97,250	96,934	ポイント引当金	176	195
無形固定資産	10,952	10,729	繰延税金負債	25,536	18,594
前払年金費用	-	1,070	再評価に係る繰延税金負債	11,742	11,069
支払承諾見返	66,864	61,924	支払承諾	66,864	61,924
貸倒引当金	△ 35,062	△ 30,464	負債の部合計	12,088,390	12,450,669
			(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			資本準備金	122,134	122,134
			利益剰余金	436,076	477,182
			利益準備金	50,930	50,930
			その他利益剰余金	385,146	426,252
			固定資産圧縮積立金	35	85
			別途積立金	335,971	370,971
			繰越利益剰余金	49,139	55,195
			自己株式	△ 27,532	△ 37,480
			株主資本合計	675,747	706,905
			その他有価証券評価差額金	114,380	96,475
			繰延ヘッジ損益	414	231
			土地再評価差額金	10,663	11,050
			評価・換算差額等合計	125,457	107,757
			新株予約権	446	516
			純資産の部合計	801,651	815,178
資産の部合計	12,890,041	13,265,847	負債及び純資産の部合計	12,890,041	13,265,847

■ 損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	<small>(平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで)</small>	<small>(平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで)</small>
	平成27年3月期	平成28年3月期
経常収益	197,003	205,368
資金運用収益	137,880	140,857
(うち貸出金利息)	111,296	108,658
(うち有価証券利息配当金)	24,366	28,707
信託報酬	3	2
役務取引等収益	38,135	39,052
特定取引収益	2,652	3,276
その他業務収益	4,231	4,233
その他経常収益	14,099	17,946
経常費用	122,824	125,704
資金調達費用	11,847	15,398
(うち預金利息)	4,582	5,077
役務取引等費用	18,908	20,017
その他業務費用	424	2,014
営業経費	83,370	81,729
その他経常費用	8,273	6,544
経常利益	74,178	79,664
特別利益	1	9
固定資産処分益	1	9
特別損失	1,136	641
固定資産処分損	420	454
減損損失	716	186
税引前当期純利益	73,043	79,031
法人税、住民税及び事業税	23,232	22,172
法人税等調整額	4,003	4,323
法人税等合計	27,235	26,496
当期純利益	45,807	52,535

